

日本物理学会物理学史資料委員会ニュース

No. 6

編集・発行 日本物理学会物理学史資料委員会

2023 年 10 月 30 日

一般社団法人 日本物理学会 物理学史資料委員会では、年3~4 回の委員会議において、主として日本国内の物理学史資料の保管・収集などに関して情報交換を行っています。『日本物理学会物理学史資料委員会ニュース』は、その情報の一部をウェブ上で紹介するために刊行されています。

正確な内容をお届けするよう心がけますが、同委員会の委員の報告をもとに速報性を重視した構成とするため、情報が十分でない可能性があります。詳細については、関連する機関等に別途ご確認いただけますようお願い申し上げます。

《目次》

- アインシュタイン来日に関する展示
- 湯川史料のウェブ公開
- 物理学史資料委員会のオーラルヒストリーについて
- 2023 年度第 1 回自然科学系アーカイブズ研究会が開催されました

(原稿受付順)

● アインシュタイン来日に関する展示

2022 年は、1922 年のアインシュタイン来日から 100 年に当たるが、これを記念して、2023 年 3 月 22 日から 4 月 28 日まで、東京大学大学院総合文化研究科・教養学部・駒場博物館において、「来日 100 周年記念ーアインシュタインの日本講演旅行ー駒場篇」が開催された。ドイツ連邦共和国大使館の提供を受けて、大使館の外壁に飾られていたアインシュタインの日本滞在のようすを描いた絵をバナー状にしたものが展示されたほか、日本の外交官の一家との交流を物語る写真、反相対論を掲げてアインシュタインに挑戦しようとした土井不曇に関する資料などが披露された。外交官一家との交流を物語る写真に関しては、『日本物理学会誌』（78 巻 2 号、2023 年、91-94 頁）に解説記事がある。

展示の概要は以下のサイトで紹介されており、解説のスライドの PDF もダウンロードできる。 <http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/2023.html#Einstein2023>

(岡本拓司委員)

● 湯川史料のウェブ公開

京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室のウェブサイトにおいて「史料室(YHAL)所蔵全史料リスト List of All YHAL Resources」が 2023 年 9 月 6 日に公開された（発表されたのは湯川秀樹の命日である 9 月 8 日）。今回公開された史料リストは、湯川記念館史料室が所蔵する全史料（若干の整理中史料以外）のリスト「YHAL 全史料リスト」（pdf ファイル 10.08MB, 43,017 件）となる。このうち、スキャン画像にデータ化された史料だけのサブリスト「YHALscan データ史料リスト」（pdf ファイル 642KB, 2,330 件）も掲載されている。スキャン画像のある史料へは、どちらのリストからも、ウェブ上でクリックすればその場で史料の全ページの画像を見ることが出来る。また、ウェブ上の画面で **Ctrl+F** キーを押すと検索窓が現れ、文字入力すれば検索できる。（2023/09/06 現在）

<https://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~yhal.oj/archive.html>（2023 年 9 月 23 日閲覧）

(小長谷大介委員)

● 物理学史資料委員会のオーラルヒストリーについて

物理学史資料委員会では、学会創立 150 年に合わせて、日本の物理学研究を牽引するとともに学会運営を担ってきた会員（主に会長経験者）を対象にインタビュー（オーラルヒストリー）を行い、その来歴や事跡を記録（学会誌、冊子等の形で）に残す試みを進めている。

(林春雄委員)

● 2023 年度第 1 回自然科学系アーカイブズ研究会の開催

2023 年 10 月 5 日に標記の研究会が大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所（極地研）において「観測とアーカイブ資料」のテーマで開催された。出席者は 45 名（うち極地研から 10 名）であった。

極地研はその創設からちょうど 50 年の節目にあたり、それ以前から実施されていた南極観測事業の実施にかかわる記録や資料などが多くこのこされていたが、2010 年に立川に移転したのをきっかけにアーカイブ室を設置して、保存管理を充実させることが出来るようになった。展示も行っている。なお、講演の後に所内見学（生物資料庫、アーカイブ室、南極・北極科学館）が行われた。

プログラムの前半は極地研のアーカイブ室の紹介と保存資料の特徴とその取扱いの解説を中心に、後半は様々な話題の提供が行われた。

講演の題目は次のとおりである：

- 「自然科学系アーカイブズ研究会現況について（高岩義信）」
「極地研究所のアーカイブ室について（工藤栄）」
「南極観測資料・極地研究とアーカイブ（神田啓史）」
「国文学研究資料館のアーカイブズ保存活動（太田尚宏）」
「越前大野藩と明倫学舎（松田慎三郎）」
「物性グループ関係資料（物性（小）委員会）（中山正敏）」
「天文学におけるオーラルヒストリーの試み（高橋慶太郎）」
「COVID-19 のパンデミックをめぐる資料、記録、記憶の行方（飯島渉）」
「核融合科学研究所におけるアーカイブ活動（成嶋喜朗）」
「KEK 50 周年誌の編集について（菊谷英司）」

（高岩義信委員）